



神奈川県立横浜平沼高等学校

歴史資料展示室

# ご挨拶

校長 小島 由美

横浜平沼高等学校の教育活動について語るにあたって、「伝統」というキーワードを欠かすことができません。

神奈川県教育委員会が定めた横浜平沼高等学校のミッションの中にも、「人間性豊かで想像力や行動力にあふれ、指導的な役割を果たせる人材の育成に向けて、学校の歴史と伝統を生かした教育活動全体を通じて、生徒一人ひとりが幅広い視野を持ち、自ら考え、表現し、行動する力を育むことができるように取り組む」とあります。

グローバル化が進む社会で活躍できる能力を育成するため、国際理解教育の充実を図るとともに、本校生徒は「校史教育」を通して、グローバル社会における自らのアイデンティティを確立し、多様性を尊重する資質を身に付けています。

貴重な資料が展示されている「歴史資料展示室」が本校にもたらしてきたご支援に心から感謝申し上げますとともに、益々充実され、発展されることを願います。

真澄会会長 皆藤 慎一（62期）

「歴史資料展示室」は創立100周年記念事業として2003年に開設されました。同窓会である真澄会は、母校に協力し、資料の収集・整理・展示を行なってきました。

学校公開日や平沼祭では「歴史資料展示室」を公開し、卒業生の真澄会スタッフが説明をして平沼高校をアピールしています。

在校生にとっては、横浜平沼高校の歴史や先輩達の学校生活を学ぶ場として、同窓生にとっては母校の「あの時代の青春や先輩・後輩の時代」を思い起こす場となっています。特に2003年より前に卒業した同窓生には特別な場所ではないでしょうか。

「歴史資料展示室」開設以来20年を過ぎましたが、コロナ禍により公開中止が相次ぎ、スタッフの作業も思うようにはなりません。公開日が限られる現状や展示できてない資料も数多くあります。展示の見直しも含め、資料の保全・デジタル化を進め、いつでも・どこでも真澄会ホームページ上の「歴史資料展示室」を見学できるよう徐々に整備してまいります。

# 「歴史資料展示室」設置の趣旨

神奈川県立横浜平沼高等学校は、1900（明治33）年、県下初の高等女学校として設立されました。以来、1世紀以上にわたってこの岡野の地で様々な時代の「青春」を見守り続けています。

この間「神奈川県立高等女学校」「神奈川県立横浜第一高等女学校」「神奈川県立横浜第一女子高等学校」「神奈川県立横浜平沼高等学校」と、校名が変更されていますが、このことは、本校の歩みが20世紀から21世紀にわたる社会や教育の歩みと共にあることを象徴しています。

在校生が自分の学校の歴史を学ぶことを通して、近代日本の歴史を語れるようになること、様々な人々の思いの上に今の自分があることを感じられるようになること、本校ではそれを「校史教育」と名付け、特色ある教育の一つとしています。

この展示室は、時代を超え、収集・整理された資料を展示することで、在校生の「校史教育」に資することを第一の目標としています。設置に当たっては、本校同窓会「真澄会」の全面的なご協力を仰ぎました。同窓生の皆さんがそれぞれの青春時代を偲ぶ縁となる場所、更に、同窓生同士や在校生との世代を超えた交流の場となることもこの部屋の大きな目的です。また、地域の方々には、神奈川・横浜の教育の歴史をたどる場として利用していただくことも目指しています。

## 「展示室」の内容

展示室は、前半が常設スペース、後半が企画スペースになってます。常設展示では創立から今日までの校史を語り、企画展示では様々な切り口から特集を組み、学校保存の資料に加え真澄会の所蔵する3,000点余りの歴史資料の中から選び出し構成しています。100年にわたる年表には、学校での出来事に併せて社会的な出来事が記され、当時の世相を知ることができます。また、学校新聞『平沼時報』のレプリカ版を見て、在校当時の出来事をたどることができるようになってます。

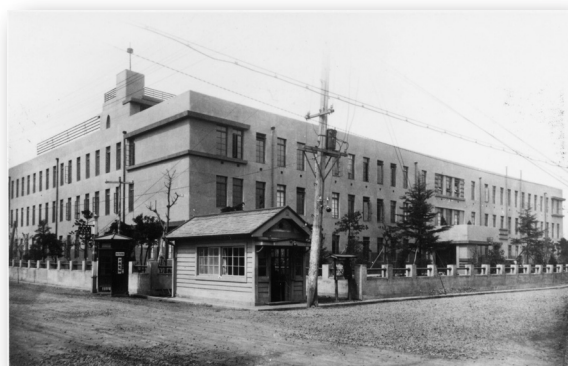
# 校舎の変遷



初代校舎  
1900(明治33)年～1923(大正12)年



バラック建ての仮校舎  
1923(大正12)年～1928(昭和3)年



二代目校舎  
1928(昭和3)年～1990(平成2)年



清水ヶ丘の仮校舎  
1990(平成2)年～1992(平成4)年



現校舎  
1992(平成4)年～